

## 令和3年度事業報告

人口減少、少子高齢化が進行する中、会員の豊富な知識、経験、技能を活かし、人手不足の地域社会に貢献できるシルバー人材センターを目指し、「自主・自立、共働・共助」の基本理念の基、会員主導の事業運営を推進しながら、会員の増強、受注拡大に努めてまいりました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の渦中でありながらも、東京五輪が開催され日本は史上最多のメダル獲得など嬉しいニュースもありましたが、新型コロナ変異株により新規感染者が急増し、社会経済への打撃が続く中、ウクライナ情勢も悪化し、更なる経済への影響が懸念される所々であります。また、高齢法の改正により整えられた70歳までの就業確保措置(努力義務)により、高齢者の働く場の選択肢が拡大したことで、シルバー人材センターへの新規入会者の高齢化や、入会数の減少につながることも懸念されます。

当センターにおいては、第3次中期計画の最終年度として、コロナ禍における会議や研修に会員もオンライン参加、SNS通信で会員への連絡も可能となり、ICT(情報通信技術)の推進を図りました。また、入会説明会も定例の月2回の他、個別対応し、女性限定説明会も実施しました。結果、会員数は減少となりましたが、事業実績等は多少ながら前年を上回ることができました。

第3次中期計画最終年度の目標値に対する実績は、会員数250名(78.1%)、契約金額8,659万2千円(76.3%)であり、目標を達成するには多様化するニーズに対応できる会員の確保が最大の課題となっています。

以下、令和3年度事業実績について報告します。

### 1 会員の拡大と入会促進

- ・継続事業として「新入会員紹介カード」の取り組みにより会員1名が1名以上を目標に新規会員の獲得に努めた会員に報奨品を贈呈した。
- ・女性委員会「ねえねの会」では免許証返上しても生活に困らないよう、巡回バス体験ツアーや介護予防教室、スマホ教室、花の寄せ植え教室、手芸教室など少人数で、生活に役立つ教室を増やして女性会員の増強に努めた。
- ・シルバーだより、町広報紙、ホームページ、自治会回覧板、チラシのポスティング、公用車のマグネット掲示板などを通して会員募集を実施した。
- ・令和3年度の会員状況は、入会者30名、退会者37名で年度末会員数は250名となり昨年度に比べ7名の減少となった。

### 2 就業機会の確保及び提供事業(請負、委託)

- ・会員の就業機会の確保及び拡充を図るため、就業開拓委員や地域連絡員によ

る一般家庭・事業所及び公共機関等への就業開拓活動を実施した。

- ・東郷町より、介護予防・日常生活支援総合事業、東郷町役場の消毒業務、資源回収受付業務、家具転倒防止器具の取付業務、アンケート調査のパソコン入力業務など11業務を受託した。
- ・生活応援隊（ワンコインサービス）、家事援助サービス、社会福祉協議会「おたすけチケット事業」に参画し一人暮らし高齢者の困りごと等に対応して地域貢献に努めた。
- ・会員の就業実績は、受託件数 1,265 件（前年度比 0.8%増）、就業延人数 19,130 人（前年度比 1.5%増）、配分金 76,166,706 円（前年度比 0.6%増）となり、新型コロナの変異株がまん延し、危機感を持ちながらも with コロナで持続した結果、多少ではあるが昨年を上回ることができた。

### **3 労働者派遣事業（派遣）**

- ・会員の多様な就業形態に対応するため、愛知県シルバー人材センター連合会の東郷町事務所として労働者派遣事業を実施し、就業延人員 1,672 人（前年度比 4.8%減）、派遣事業総額 10,512,317 円（前年度比 0.3%減）となり、事務手数料分 1,125,045 円（前年度比 8.6%増）が労働者派遣事業受託収益として東郷町事務所の財源となった。

### **4 職業紹介事業（雇用）**

- ・会員の多様な就業形態に対応するため、愛知県シルバー人材センター連合会の東郷町事務所として、有料職業紹介事業を実施した。

### **5 ワークプラザ維持管理受託事業**

- ・東郷町高齢者ワークプラザの管理運営を通して、飛沫防止対策を徹底し、高齢者の就業機会の拡大を実施、愛デアキッチンの惣菜ランチ・焼き芋事業（まん延防止措置期間中は休業）、愛デア工房の木工・小物づくり小物事業の作品も町広報等で紹介し、シルバー人材センターの存在を PR した。

### **6 講習会等の実施事業**

- ・発注の多い分野の技能を習得することを目的に、剪定技能講習会、草刈り講習会を、少人数で各 1 回実施した。襖講習会は三密を避けるため中止とした。

### **7 調査研究及び相談事業**

- ・需要に応えられる体制づくり、会員が希望する仕事等を把握するため、発注者向けに「お客様満足度調査」、会員向けに「意識調査」「やりたい仕事調査」を実施した。
- ・全国シルバー人材センター事業協会、愛知県シルバー人材センター連合会の

開催するオンライン会議に積極的に参加し、尾東地区シルバー人材センター事務連絡協議会において連携強化を図り、情報交換・情報収集に努めた。

- ・毎月、新入会説明会を開催する第1・第3火曜日の他に希望者には随時（10回）、女性限定説明会を11月に開催した。
- ・入会説明会の開催日や10月、11月を就業相談月間として未就業会員や地域の高齢求職者などに就業に関する情報提供をし、日常の会員の困りごとなどにも対応した。

## 8 安全・適正就業推進事業

- ・安全意識の向上、事故防止を図るため、安全適正就業委員会を3回開催し、就業先への安全就業パトロールを6回実施した。
- ・令和3年度の事故件数は、傷害事故3件、賠償事故2件であった。安全就業委員会ではヒヤリハット事例を集め、日頃から声掛けをしながら事故防止を呼び掛けた。
- ・新型コロナウイルス感染予防策及び事業継続マネジメント（BCM）活動を通して感染状況の日頃から感染症対策及び全会員に周知し、感染リスク等に備え準備をした。
- ・愛デアキッチンの惣菜ランチはまん延防止等重点措期間中は休業とし、営業日にはアクリル板で仕切り、黙食をお願いし安全対策を講じた。

## 9 独自事業

- ・独自事業として、愛デアキッチンの惣菜ランチ事業や持ち帰り惣菜、冬季限定焼き芋販売を、コロナ感染症防止対策を徹底して実施、愛デア工房（木工・小物づくり事業）では、会員の手作り作品も新作が並び展示販売は人気があった。

## 10 普及啓発事業

- ・会員への入会の促進、就業情報の提供を図るため、ホームページによる啓発やシルバー機関紙「東郷のなかま」を年2回発行、町広報誌へ毎月掲載、自治会回覧を1回実施、広報委員会、就業開拓委員会によるチラシの配布をおこなった。また、町のイベントである文化産業まつりが中止となった10月、11月の2ヶ月間をシルバー事業普及啓発促進月間とし、ロコミ運動、チラシのポスティング活動を実施した。

## 11 事業推進体制

- ・定時総会をコロナ感染症防止対策として役員、表彰者のみの出席として6月に開催し、事業報告及び決算、定款の一部変更、役員の選任等について承認された。また、理事会は11回（うち4回書面議決）開催し、入会員の承認

をはじめ決算関係、予算執行状況及び補正予算、事業計画などについて審議し、第4次中期計画の策定について審議した。

- ・第3次中期計画の最終年度であるため、目標数値を意識して推進したが、社会情勢の変化やコロナ感染症等により結果は程遠いものとなった。
- ・安全・適正就業委員会、就業開拓委員会、広報委員会、女性委員会、地域班会議を随時開催し、事業推進の機能強化を図った。
- ・事務所内の経費節減に努め、事務局職員の目標管理の実施や県シルバー連合会等のオンライン研修会に積極的に参加し職員の資質向上・人材育成に努めた。

## 12 その他

- ・会員の「楽友同好会」では、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら、2年ぶりに日間賀島に28名で出向き親睦を深めることができた。
- ・全国シルバー人材センター事業協会、愛知県シルバー人材センター連合会の開催する会議はオンライン研修が主流となり、会議の内容により委員会の代表等も参加した。